

微生物

平成21年度食品の安全性に関する有害微生物のサーベイランス・モニタリング年次計画

留意事項

(1)サーベイランス・モニタリングの実施に当たって、分析機関に分析を委託する場合は、精度管理を行うこと及び妥当性が確認された分析法を用いること等を条件として競争入札を行い、分析機関を選定する。

(2)十分なデータが存在せず汚染状況が不明な場合は、予備調査を実施する。

(サーベイランス)

危害要因	調査の趣旨	具体的な調査対象	調査点数
サルモネラ属菌	侵入源の推定	生食用野菜生産地域の農業用水(河川水、地下水等)	検討中
		野生動物(シカ、イノシシ)の糞便	検討中
		採卵鶏及びブロイラー用の飼料	検討中
		鶏糞、鶏糞堆肥	検討中
	生産段階の保有状況の把握	ブロイラー農場の糞便、水、塵埃、敷料、飼料	検討中
腸管出血性大腸菌(O157及びO26)	侵入源の推定	生食用野菜生産地域の農業用水(河川水、地下水等)	検討中
		野生動物(シカ、イノシシ)の糞便	検討中
		牛糞、牛糞堆肥	検討中
カンピロバクター	生産段階の保有状況の把握	ブロイラー農場の糞便、水、塵埃、敷料、飼料	検討中
リステリア	侵入源の推定	生食用野菜生産地域の農業用水(河川水、地下水等)	検討中
		野生動物(シカ、イノシシ)の糞便	検討中

※水とほ場土壌の糞便汚染との関連性を検討するため、水及びほ場土壌を採取し、大腸菌と腸球菌の検査も実施

文献情報等により平成21年度に調査の必要性があると判断したもの

調査対象微生物	調査の趣旨	具体的な調査対象	調査点数
かび毒(アフラトキシン、オクラトキシン)産生菌	国内ほ場土壌中での生息の可能性を調査	ほ場土壌	500点